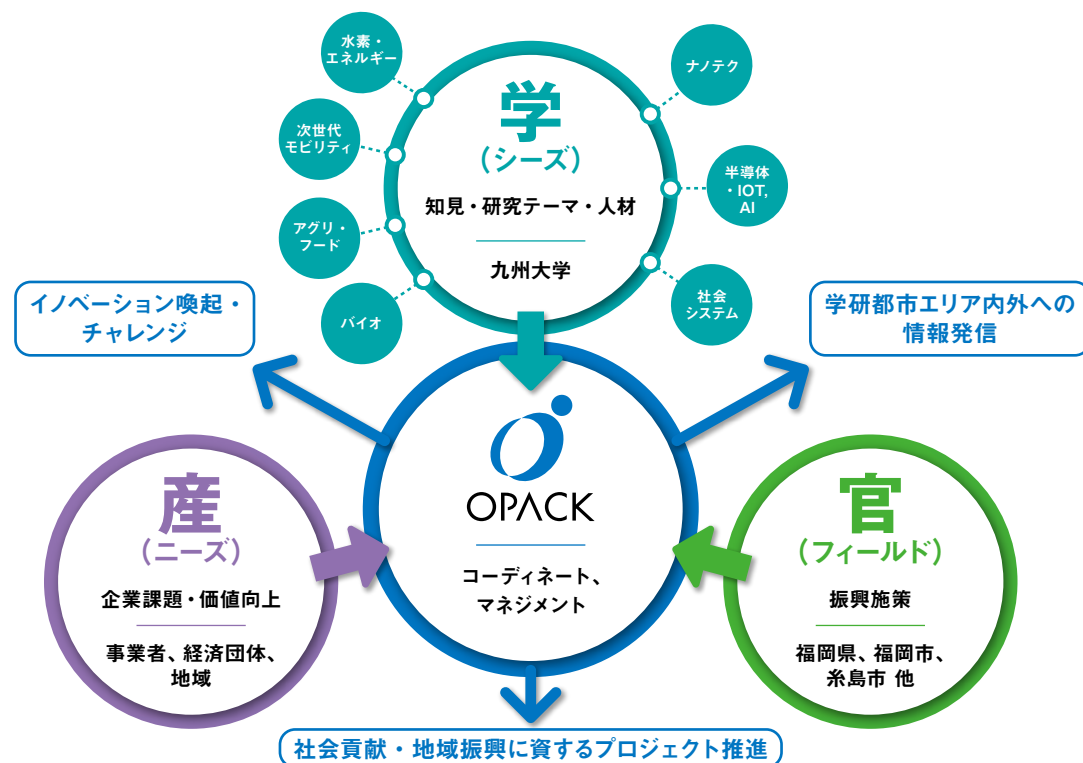


OPACKの推進体制

九大学研都市は、九州大学を中心とした他大学にはない強みや特色を持つ世界最高水準の教育研究活動を展開できるエリアへと変貌を遂げつつあります。OPACKは、九大学研都市の情報発信やプロジェクト推進、イノベーション喚起・チャレンジを促すため、産・学・官と連携し、様々な事業を展開しています。



OPACK 中期事業計画(2020～2022年度)で取り組む戦略的プロジェクト

2018年9月に九州大学の伊都キャンパスへの移転が完了したことに伴い、学術研究都市における産業・研究基盤の整備、共同研究事業は、新たなフェーズを迎えています。OPACKでは、2020年2月に中期事業計画(2020年度～2022年度)を策定し、従来展開してきた事業に加え、新たに3つの事業を戦略的に実施していくこととしています。

■ 農林水産業コンソーシアム創設事業

最新の学術や生産技術、ビジネスの情報を共有するプラットフォームを形成。プラットフォームから、事業化を目的としたコンソーシアムの創設を支援します。

■ ライフサイエンス研究開発強化事業

九州大学が意欲的に取り組んでいるライフサイエンス分野(医薬、創薬、食品、ヘルスケア等)の新産業創出とイノベーション創出を推進するため、コンソーシアム等の活動を支援します。

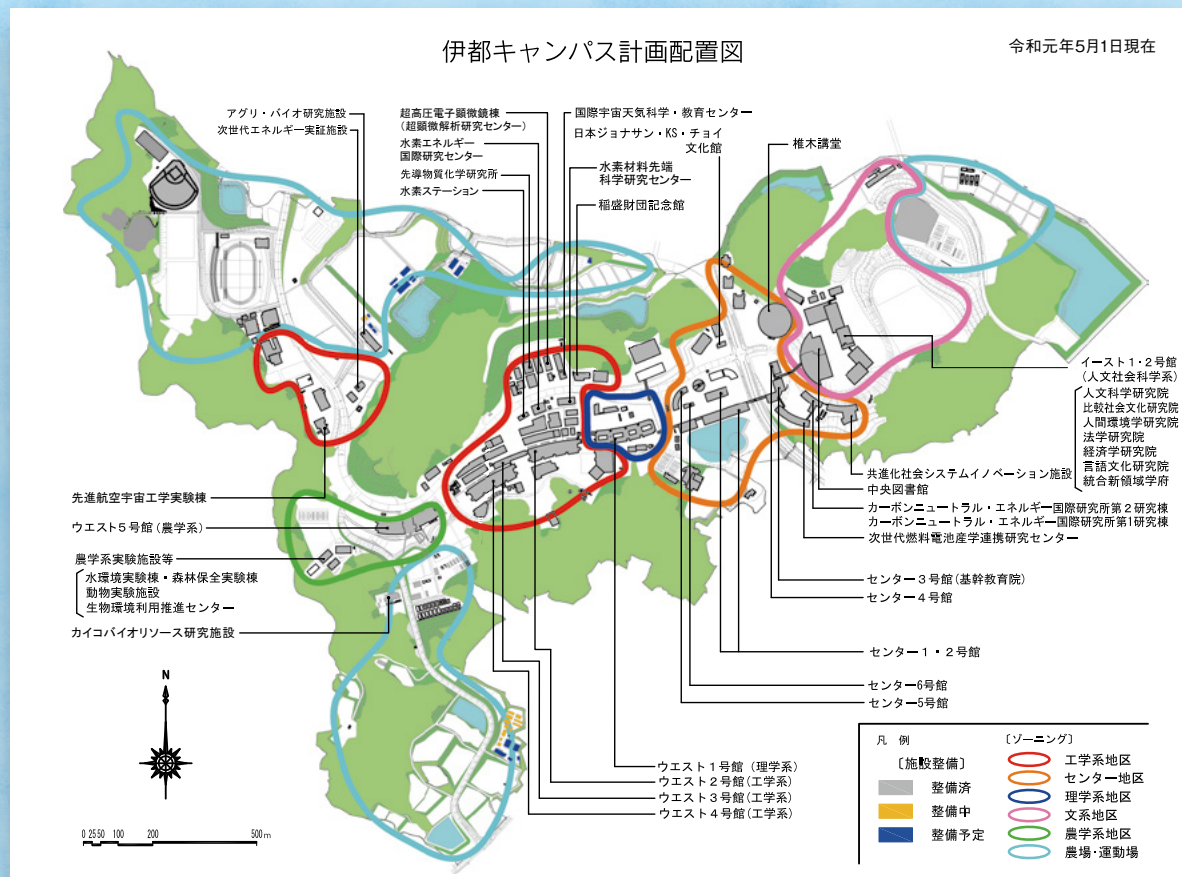
■ 九大学研都市発スタートアップ促進事業

研究成果の地域還元と地域産業発展のため、研究シーズを核とした学術研究都市発のスタートアップ促進を図り、人材・資金・知財や知識の好循環を形成する事業に取り組みます。

九州大学学術研究都市

～ 知の交流と創造～





研究開発機関等の立地状況

九州大学 伊都キャンパス



7 Kyulux 株式会社Kyulux

九州大学発のDeep Techベンチャー
次世代ディスプレイ・照明向けに、究極の有機EL
発光材料/技術(TADF/Hyperfluorescence™)の開発
および実用化を目指す



8 福岡市産学連携交流センター (FiaS)

九州大学学術研究都市の先導的施設として福岡市
が平成20年に設置
産学連携の促進による新産業・新事業の創出を目的として、
レンタルラボ・オフィスや高度な分析機器(電子顕微鏡等)を提供



9 i-operq 有機光エレクトロニクス 実用化開発センター

有機光デバイスの試作と評価、設計ソリューション、プ
ロセス技術の開発などの受託・共同研究を行っている
また、有機光エレクトロニクス産業化研究会の開催や
新規参入補助金の交付により、地場企業を支援



10 元岡地区研究開発拠点

元岡地区(福岡市西区九大新町)において、研究
開発・交流等の各機能が相互に連携する「九州大学
を活用した研究開発次世代拠点」の形成を促進



11 三次元半導体研究センター 社会システム実証センター

半導体の三次元積層等の研究開発・試作・評価を
支援する拠点(三次元C)及び開発したデバイス等
の評価・実証(無線通信、耐久試験等)を行うラボ
併設施設(実証C)



12 九州大学起業部

2017年6月に設立された九州大学の学生ベンチャー
創出を目的とした部活動
2年4か月で15社のベンチャーを立ち上げ、国内外の
ビジネスプランコンテストにおいて受賞多数



13 REC 九州大学 ロバート・ファン/ アントレプレナーシップ・センター

社会のあらゆる分野で積極的に新しい価値創造に
チャレンジし、自らの夢実現を目指すアントレプレ
ナーを育成



14 QBS 九州大学 ビジネス・スクール(QBS)

経営と産業技術の知見をもって変革をリードし、
アジアで新たな事業価値を創造する国際的なビジ
ネス・プロフェッショナルを育成

市・九州大学・住友理工 3者協
第2期活動に関する記者会見

1 ふれあいラボ
(九州大学ヘルスケアシステムLABO糸島)
住友理工(株)、九州大学、糸島市の3者連携の拠点
として設置
2019年からの連携2期目では、他の地域にも展開可能な
フレイル予防事業「糸島モデル」の確立と事業化に取り組む

2 糸島市九州大学国際村構想
九州大学の留学生や外国人研究者等呼び込み、
国際交流、国際教育等を促進して地域の国際化を
図る構想で、実現化第1弾として国際寮240室、国際
ホテル85室がオープン

3 HyTRec (公財)水素エネルギー製品
研究支援センター
「バルブ」「センサー」等の小型部品から自動車・
輸送トレーラー・水素ステーション用の中・大型貯蔵
容器まで、あらゆる水素関連製品の耐久試験を
通じて、企業の水素エネルギー新産業参入を支援

4 九州大学水素エネルギー研究教育拠点
九州大学の看板プロジェクト
カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所/水素エネルギー国際研究
センター/水素材料先端科学センター/福盛フロンティア研究
センター/次世代燃料電池産学連携研究センター/センターオブ
イノベーション/次世代エネルギー実証施設/水素エネルギーシステム専攻

5 九州大学農学部附属農場
日本最大級のオンキャンパス農場として2021年4月
開校予定(キャンパス内に約23%の農場を整備)
最先端の農学研究・教育を行う場として、また実証
ファームとしての活用が期待されている

6 KAICO KAICO株式会社
九州大学の技術を元に起業した大学発ベンチャー
農学研究院、工学研究院の技術を使用し、蚕から
多様なタンパク質を産生し医薬品・診断薬・試薬
を創出